

新型コロナウイルス感染症 今、わかっていること



日本救急医学会救急科専門医
日本集中治療医学会集中治療専門医
インフェクションコントロールドクター (ICD)
堀 雅俊

一般的に、ウイルスに対してはワクチン接種や実際の感染により免疫がついて感染しにくくなると言われますが、**オミクロン株は免疫を回避する性質がある**ことがわかってきました。

再感染リスク
オミクロン株は
デルタ株の
5倍以上
というデータもあります。

オミクロン株の亜種 (BA.2)
※ステルスオミクロン

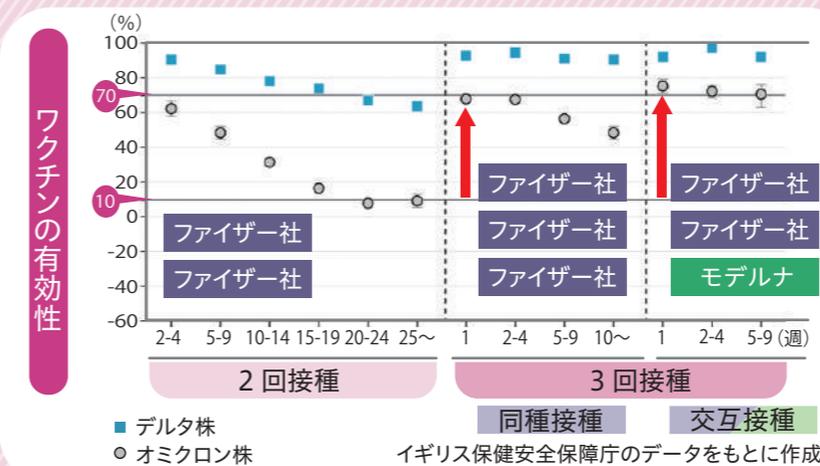
2022年の年明け以降、日本で第6波を引き起こしている**オミクロン株**ですが、日本を含め**世界で主流**になっているのは**BA.1**という株です。
しかし、**BA.2**と呼ばれる株も世界各国で報告が増えており、日本国内でも複数の地域で市中感染が確認されています。
英国の報告では、**BA.2**系統は**BA.1**系統より**感染力が強い可能性**があり、再感染には一層の注意が必要です。



※**ステルスオミクロン**：一部の遺伝子検査ではオミクロン株に分類することができなかったことがステルスとよばれる由来です。

ワクチンの交接種

前号でも掲載したとおり、時間とともに薄れたワクチンの予防効果をもう一度高めるための**ブースター接種**ですが、使用するワクチンは2回目までの種類に関わらず、**ファイザー社** または **武田/モデルナ社** のものであれば、**3回目にいずれのワクチンを接種してもブースター効果は得られます**。むしろ1回目・2回目で接種したワクチンと違う種類を3回目に接種する「**交接種**」では**抗体価がより高くなった**という報告もあります。



副反応も1回目、2回目と同等ですが、3回目は脇の痛みやリンパ節の腫れを感じる方が少し多いようです。
筆者も3回目の接種後に脇の痛みを感じましたが、2日ほどで自然に治まりました。



いつまで
ワクチンを打たないと
いけないの？

現在、各製薬会社が治療薬を開発中です。
発症後すぐに治療を受けられる状況になれば、
重症化リスク **高い方** → 定期的なワクチン接種などで重症化予防
低い方 → ワクチン接種を必須とせず発症後すぐに治療薬
といった個々にあわせた予防・治療が可能となる日が来るかもしれません。

それまでは、適切な時期でのワクチン接種と



といった基本的な感染対策を続けましょう。

※2022年3月上旬までの情報をもとに作成